

祝

九州中央自動車道 小池高山IC～山都中島西IC間が
12月16日(日)午後3時 いよいよ開通！！



山都中島西ICイメージ写真



高速道路周辺地図

- 高速道路の開通によって、山都町への観光客の増加や輸送時間の短縮など、町の活性化につながる様々な効果が期待されます。
- 開通を記念して、開通前にしかできない記念イベントも開催します。ぜひご参加ください！
詳細は近日中に町ホームページ等でお知らせします。

九州中央自動車道建設促進大会が開催されました

九州中央自動車道の建設促進大会が、10月22日に東京で開催されました。

九州中央自動車道建設促進期成会（会長：梅田山都町長）及び熊本県などが主催する大会で、坂本哲志衆議院議員をはじめ熊本県選出の国会議員及び国土交通省を来賓とし、現在工事が進められている矢部IC（仮称）までの早期完成、蘇陽までの早期事業化といった九州中央自動車道の早期全線開通に向けた要望の声を力強く国へ届けました。



九州中央自動車道建設促進期成会（構成：熊本市及び上益城郡の市町長及び議長）



町長室から
梅田 穰

11月に入りました。稲刈りも順調に進んで秋の収穫の喜びを皆で分かち合い、新米の美味しさを満喫したいものです。農家やJAの方々によると、今年の夏秋野菜の出荷・販売は好調な結果だったそうです。農業を基幹産業とする山都町にとっては、町の活性化に大いに繋がるもので、大変喜ばしい知らせです。

10月13日に、熊本地震復興支援・国指定重要文化財・通潤橋復旧ライトアップ事業の点灯式が行われました。県の上益城地域振興局と本町を含む4町（美里町、御船町、甲佐町、山都町）で構成する緑川流域広域連携事業によるものです。11月11日までの1ヶ月間、通潤橋は、世界的に有名な空間デザイナー、仁木洋子さんによる幻想的な光の演出がなされました。点灯式当日は、稲刈り前の掛け干しの田んぼや周囲の紅葉も美しく、町内外から来られた多くの方に楽しんでいただけました。通潤橋の復旧支援には全国から多くの寄付を頂いていま

す。できるだけ速やかな復旧を目指し、文化庁、県、関係者の協力を得ながら進めて参ります。10月27日、28日、「第6回町内・集落福祉全国サミットin熊本・山都町」を開催しました。県内はもとより、全国から2日間延べ800名以上が参加する盛会となりました。全国の地域福祉に携わる方々の集まりであり、優良事例の発表、分科会、基調講演、清和文楽鑑賞、交流会等、多彩な催しの中で、福祉の担い手が国から県へ、県から町へ、町から地域へとシフトしていく中、参加された多くの方々にとって、地域福祉の重要性、進むべき方向性の議論が深まった有意義な大会だったと思います。

山都町30地区福祉会、老人会、女性の会、民生委員、自治振興区、山都町社協と多くの方々の協力のもと大会は無事終了しました。今後、本大会に参加された方々の想いが、山都町地域福祉の輪を広げる原動力になることを期待しています。

通潤橋の復興と復旧へ祈りを込めて・・・

10月13日から11月11日まで、国内外で活躍されている熊本出身の空間演出デザイナーにきょうこさん監修による「熊本地震復興支援・国指定重要文化財・通潤橋復旧ライトアップ 通潤橋～心のあかり 2018」が実施されました。13日、14日には光の乱反射を利用した「光の箱」の作成ワークショップが行われ、ライトアップ期間中、「道の駅通潤橋」と「やまと文化の森」で展示が行われました。

10月13日のオープニングセレモニー・点灯式には、仁木さんのほか、ふるさと応援大使の伴都美子さん、くまモンなどが式典を盛り上げるためかけつけてくれました。仁木さんはあいさつの中で「橋の良さを際立たせるようなライトアップにしたかった。通潤橋の復旧工事が終わり、元の姿に戻ったら、またライトアップをしに来たい。」と話されました。また、式には町内外から多くの方が集まり、ライトアップされた通潤橋と、通潤橋を背景に響き渡る Do As Infinity の歌声とギターの色音が織り成す幻想的な空間に、うっとりときき入っていました。



たまご型のスイッチで、いざ点灯！



Do As Infinity のライブ



1つ1つ個性が光る「光の箱」